

山田川を考える会 議事概要

日 時：令和6年6月28日(金)

14:00～15:00

場 所：湯浅町役場3階なぎホール

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 議事

(1) 山田川を考える会規約について

事務局から規約（案）について説明し、委員から承認をいただいた。

(2) 二級河川山田川水系河川整備計画について

事務局から河川の計画制度及び二級河川山田川水系河川整備計画（原案）について説明し、委員及び会場にお越しの方から意見・質問をいただいた。

<議事でいただいた主な意見・質問>

(◆：委員 ◇：会場にお越しの方 →：事務局)

◆河川整備計画の策定目標はいつか。

→令和6年度中の策定を目標としている。

◆一之橋付近で計画しているショートカットとは、どのようなものか。

→一之橋付近は川が大きく屈曲しており、(資料2の)平面図の赤丸で示した辺りに、新しい川（流れやすい川）をつくる。

◆ショートカット部について、今、流れている川は埋めるのか。

→ショートカットにより洪水を安全に流すが、今の川には藪田井堰（取水堰）がある。新しい川の位置に堰を移すのか、新しい川から水を分岐させて今の堰で取水するのか、水利組合と相談していく。

◆藪田井堰について、水路の入口が高く、水位が下がると取水が問題になる。また堰の形も悪い。

上流にある堰についても同様に水路の入口が高い。河川改修時に考えてほしい。

◆水道事務所では、水利組合に配慮いただきながら取水している。取水機能の確保にあたっては、水道事務所とも調整をお願いしたい。

→取水機能を確保できるよう協議していく。

◆河川整備計画の対象期間が概ね 20 年というのは長い。

→河川整備計画による改修が全て出来上がるまでを 20 年の目標としている。下流の掘削と並行し、堰の機能復旧など上流の改修の詳細な検討を進め、スムーズな事業進捗を図る。

◆住民の方からも要望が出ており、20 年は長い。応急的な対策を考えて欲しい。

◇R5.6 豪雨時は非常に怖い思いをした。ショートカットする計画は理解したが、計画期間 20 年は長く、応急対応をお願いしたい。

◆川沿いに家が並んでおり、浚渫で水位を下げてほしい。浚渫の計画も含めて全体を溢れないようにやってほしい。

→河川整備計画の改修に合わせて、上下流バランスを見ながら、応急的な対策を検討していく。

◆潮位の影響を受けて、下流の北栄橋付近で溢れそうになったことがある。満潮が夜間の可能性もあるため、監視カメラが必要ではないか。

→カメラ設置については、県下全体で設置要望がある。湯浅町からも御要望をいただき、検討していきたい。

◇一之橋付近に河川監視カメラが設置されているが、R5.6 豪雨時は川が溢れてから避難の呼びかけがあった。カメラを設置する県と町で連携を図ってほしい。

→（高齢者等避難の情報を発令しており）公開している河川監視カメラの情報も見ながら自主的に避難してほしい。

◆早期の整備をお願いしたい。また、取水されている方や地域の方に丁寧に説明いただき、事業を進めてほしい。

4. 閉会